

作成日：2011.8.30 更新日：2015.4.1



【キーワード】

家族 家父長制 民法典論争 イエ制度 戸主権 戸籍制度  
新生活運動 性的役割分業 ジェンダー 専業主婦 良妻賢母  
核家族 家族周期 家族社会学 家族規範

📖 関連する授業：「家族社会学」

》》》 入門的な情報源 《《《

そもそも「近代家族」とはということなのか、おさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『社会学事典』丸善 2010 → “家族の社会学” の章	R361.033/M	本館
『事典 家族』弘文堂 1996 → 家族に関する統計調査・世論調査の資料あり	R367.3/H	本館
『新版 家政学事典』朝倉書店 2004 → “第Ⅱ編 家族関係”	R590.36/K	本館

「閲覧ビジュアルⅡ」の「知恵蔵」も利用できます。(インターネット・学内のみ)

→ 「近代家族」では項目がありませんが、キーワードの中にヒットするものがあります。

》》》 図書を探す 《《《

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■ テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

324.6	家族法	362.06	近代社会
324.87	戸籍法	367.1	女性・女性論
361.63	家族・血縁集団	367.3	家・家族関係

※ 該当分野における基本的著作がリストアップされています。

● 『社会学文献事典』弘文堂 1998 《R361.033/S 分館》

※ 家族社会学に関する 1950～1970 年代の重要文献が復刻版として集められています。

● 『戦後家族社会学文献選集』日本図書センター 2009 《361.63/S 本館》

■ OPAC で探す

→ 「書名」に“近代家族”と入れてみる。「内容細目」にチェックが入っていると、書名に“近代家族”の語句がなくても件名などから見つかることがあります。

→ 配架場所が研究室の場合は、その先生の研究室に伺ってお願いしましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『近代家族の成立と終焉』上野千鶴子 岩波書店 1994	361.63/U	本館
『21世紀家族へ 家族の戦後体制の見かた・超えかた』(第3版) 落合恵美子 有斐閣 2004	367.3/O	分館
『日本型近代家族 どこからきてどこへ行くのか』千田有紀 勁草書房 2011	361.63/S	分館
『「近代家族」を超える非法律婚カップルの声』善積京子 青木書店 1997	367.4/Y	本館
『ライフコースとジェンダーで読む家族』岩上真珠 有斐閣 2007	367.3/I	本館
『文学から見た家族法』大村敦志 ミネルヴァ書房 2012	367.3/O	分館
『迷走する家族 戦後家族モデルの形成と解体』山田昌弘 有斐閣 2005	367.3/Y	研究室

本学にはない図書も探してみましょう。

- NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。
- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の図書・雑誌が検索でき、所蔵館も表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

## >>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。出版されるまでの時間が短いのでタイムリーな話題が掲載されています。

### ■実際の雑誌から関連記事を探す

【図書館で所蔵している雑誌】

資料情報	所蔵年	配架場所	Web 目次
『社会学評論』有斐閣/季刊	2006-現在	本館	○(CiNii に目次あり)
『福祉社会学研究』東信堂/年刊	2010-現在	分館	○全号

→各号の目次をコピーしてまとめてあります。バックナンバーを探すのに便利です。

→“Web 目次”の欄に○がついているものは、出版社サイトなどに目次や特集が掲載されています。

★また、所蔵はありませんが、このテーマに関連する次の雑誌は web 上で公開されています。

雑誌名	公開範囲
『家族社会学研究』日本家族社会学会	vol.1～vol.24(1989-2012) J-Stage より

《上記の雑誌以外で特集記事などに「近代家族」が取り上げられたものの例》

雑誌名	特集記事	巻号、発行年	配架場所
『月刊福祉』	“今、高齢者をどう見守るか” 論文Ⅳ「家族をやめるといふ選択肢の広がりー近代家族イデオロギーの崩壊」	94(2), 2011	分館
『教育と医学』	家族はどこへ行くのか “nLDK の崩壊ー住宅からみた近代家族	43(1), 1995	本館 司書室

### ■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。  
→「近代家族」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

近代家族に関する社会史的研究の再検討：「家族の情緒化」の視点から  
宮坂靖子 奈良大学紀要 38号, 157-170, 2010.03  
**機関リポジトリ**

このように、「CiNii-PDF」「機関リポジトリ」「CiNii-Link1」というマークがついていれば、全文を読むことができます。(有料のため見られないという例外もあります)  
「CiNii-PDF 定額アクセス可能」の場合は、学内であれば、閲覧が可能です。

## >>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門紙は次のとおりです。

### ●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲	配架場所
朝日新聞	一般紙	過去 3 ヶ月程度	本館
北海道新聞	一般紙 (ブロック紙)	過去 1 年程度	本館
毎日新聞	一般紙	過去 3 ヶ月程度	本館
読売新聞	一般紙	過去 1 年程度	分館
産経新聞	一般紙	過去 3 ヶ月程度	分館

福祉新聞	専門誌	2005.4-現在	分館
------	-----	-----------	----

- \*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。  
(1948,1-2004,12 は恵陵館書庫、2005.1-2011.3 は本館)
- ☀分館には「家族問題」に関する新聞記事ファイルがあります。

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」(学内のみ) ~キーワード・日付などから検索できます。  
→「近代家族」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

男性・女性 ツボを外す少子化議論 藤原帰一(論壇時評)  
2003年11月25日 夕刊 文化 12頁

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計・法令・文献集などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『家族データブック 年表と図表で読む戦後家族』有斐閣 1997 →戦後50年の家族関連文献リストや統計データがあります。	361.63/K	本館
『女性白書』日本婦人団体連合会 →女性をとりまく諸問題の現状。2010年版には民法について現行法の問題点と国連からの勧告の記述があります。	R367.21/J	本館
『男女共同参画統計データブック』ぎょうせい 2006	R367.1/K	本館
『日本婦人問題資料集』ドメス出版 1976-1981 →第5巻〈家族制度〉に明治民法・現行民法成立過程等の資料	367.21/N	本館
『論点ハンドブック 家族社会学』野々山久也 世界思想社 2009 →家族に関しての社会学的研究の論点・論争を整理しています。	361.63/N	本館
『日本近代思想大系』岩波書店 1988-1991 →第20巻「家と村」に民法典論争の資料があります。	121.6/N	本館
『戦後家族社会学文献選集』日本図書センター 2008-2009 →戦後の家族社会学関連の文献を集めた資料集です	361.63/S/ 1~20	本館

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>  
→「国民生活基礎調査」など、各種統計・白書が公開されています。
- 内閣府 <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/senkoudo.html>  
→「国民生活選好度調査」では、年ごとに特定テーマがあります。  
(H9：女性のライフスタイルをめぐる国民意識、H13：家族と生活に関する国民意識 など)  
→「家族の法制に関する世論調査」(2006)では、“家族の役割” “名字” などについて調査しています。
- 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/index.htm>  
→「社会生活基本調査」などが公開されています
- 国立社会保障・人口問題研究所 <http://www.ipss.go.jp/>  
→各種人口統計資料をはじめ、「出生動向基本調査」・「家庭動向調査の結果なども公開されています。
- 統計数理研究所(調査科学研究センター) <http://noe.ism.ac.jp/survey/>  
→「日本人の国民性調査」では、各種質問の結果が、調査実施回別・時系列さらに年代別・地方別など

とわかりやすく表示されます。

- 日本家族社会学会 <http://www.wdc-jp.com/jsfs/>  
→過去3回(1998/2003/2009)の「全国家族調査」結果が公開されています。機関誌『家族社会学研究』はJ-Stageで公開されています
- 国際日本文化研究センター <http://db.nichibun.ac.jp/ja/>  
→日本文化に関する研究課題についてさまざまな分野の研究者によって共同研究する学術センターです。公開しているデータベースの中に「家族史・人口史文献」があります。
- 家族問題研究学会 <http://icfr.jp/>  
→家族問題について研究を深める学会です。機関誌『家族研究年報』を発行しています。

## 図書館にない資料を入手するには

### ■直接利用

所蔵している図書館を調べ(Webcat など)直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。(道内39大学47館)

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

\*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満18歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

### ■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。申込用紙に記入の上、申し込んでください。

\*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。

国内で所蔵館がない場合でも、英国図書館にあれば、取り寄せることができます。

### ■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

\*絶版などの理由で購入できない場合もあります。